

名称変更の概要

事 項	記 入 欄			
計 画 の 区 分	学部の学科の名称変更			
フ リ ガ ナ 設 置 者	が'ヨリホクジン トカイガクエン 学校法人 東海学園			
フ リ ガ ナ 大 学 の 名 称	トカイガクエンダ'ガク 東海学園大学 (Tokai Gakuen University)			
名 称 変 更 の 内 容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(現在の名称)</p> <p>健康栄養学部 英訳名 (School of Health and Nutrition)</p> <p>管理栄養学科 英訳名 (Department of Nutrition)</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">→</td> <td style="width: 40%; vertical-align: top;"> <p>(変更後の名称)</p> <p>健康栄養学部 英訳名 (School of Health and Nutrition)</p> <p>健康栄養学科 英訳名 (Department of Health and Nutrition)</p> </td> </tr> </table>	<p>(現在の名称)</p> <p>健康栄養学部 英訳名 (School of Health and Nutrition)</p> <p>管理栄養学科 英訳名 (Department of Nutrition)</p>	→	<p>(変更後の名称)</p> <p>健康栄養学部 英訳名 (School of Health and Nutrition)</p> <p>健康栄養学科 英訳名 (Department of Health and Nutrition)</p>
<p>(現在の名称)</p> <p>健康栄養学部 英訳名 (School of Health and Nutrition)</p> <p>管理栄養学科 英訳名 (Department of Nutrition)</p>	→	<p>(変更後の名称)</p> <p>健康栄養学部 英訳名 (School of Health and Nutrition)</p> <p>健康栄養学科 英訳名 (Department of Health and Nutrition)</p>		
名 称 変 更 の 時 期	令和5年4月1日			
新 名 称 の 対 象 年 次	1年次～ (令和5年度入学生からを対象年次とする)			
名 称 変 更 の 理 由	<p>現在の健康栄養学部管理栄養学科は、平成16年に設置認可を受けた人間健康学部管理栄養学科を母体にして、平成23年に健康栄養学部管理栄養学科を学部設置届出書により設置した。</p> <p>本学部は、健康の維持・増進と疾病予防・治療の際に、食を中心とした生活指導の実力を備えた専門性の高い業務を担える管理栄養士を養成すべく教育を行ってきた。加えて、多様な健康・栄養の課題を捉えて、人のライフスタイル、とりわけ食生活・栄養の面から生活習慣病の予防を実現し、生涯を通じた健康づくりに貢献できる人材の育成も教育目標としてきた。こうした得意分野を持ち、社会のあらゆる場面で活躍できる管理栄養士を育成するため、「臨床栄養」「スポーツ栄養」「食品開発・分析」「栄養教諭」の4つの領域の知識を深めるための科目や免許・資格関連科目を盛り込んだカリキュラムを展開してきた。</p> <p>そして、令和4年度に、在学生に学習満足度に関するアンケートで興味ある学びの分野を尋ねたところ、「臨床栄養」26.3%、「食品開発」44.4%、「スポーツ栄養」19.2%という結果であった。また、同様に令和3年度新入生に調査したところ、大学4年間に食・栄養以外で学んでみたいことでは、「企業との共同開発(26.7%)」があり、食品開発への興味関心の高さが確認できた。就職状況においては、臨床栄養の進路を選択する学生が減少しているのに対し食品業界を選択する学生は増加傾向にあり、ここ10年間で10%台から50%近くまで増加してきている。</p> <p>東海学園大学では、令和4年度より、教育の理念である「ともいき」をより具現化した学びとするため、SDGsをテーマに、一般教養はじめ、全学部で若干のカリキュラム変更を行っている。これを受けて、健康栄養学部では、サステイナブルな食品開発、フェアトレードの考えを踏まえたグローバルな食品開発やアスリートや健康増進に寄与する食品開発などといった取り組みを積極的に行っていきたいと考えている。</p> <p>以上のような経緯により、本学部では、食品開発についても深く学べるカリキュラムへの改編を検討した。現在、卒業要件単位数を132単位以上と定め、「管理栄養士国家試験受験資格」取得に必要な科目を軸とし、83科目を必須としている。高度な専門知識を有する管理栄養士の養成として必要な科目を軸とし、「臨床栄養」「スポーツ栄養」「食品開発・分析」「栄養教諭」の4つの領域の知識を深めるための科目や免許・資格関連科目も含んだカリキュラムではあるが、食品開発に関する科目(食品加工学や食品加工実習やインターンシップ)などはなく、これらの学びを希望する学生のニーズに対応すべき科目を新設した場合、卒業単位を大きく超える学びが必要となってくる。そこで、教育課程に大きな変更は加えないが、これまで行ってきた「管理栄養士国家試験受験資格」科目単位すべてを卒業要件とせずに学科の卒業を可能とする専攻(食品開発専攻)を設け、学生の学びの幅を広げる。食品開発専攻は管理栄養士の要件を満たさないため、現在の学科名「健康栄養学部・管理栄養学科」では不具合が生じる。そのため、学科名を「健康栄養学部・健康栄養学科」に変更する。</p> <p>学科名称変更は、在学生の学びに混乱が生じないように令和5年度入学生からの変更としたい。また、令和5年度入学生からは、「健康栄養学科」のもと、「管理栄養士専攻」(80名)と「食品開発専攻」(40名)として入試枠を別に設けて募集を行うため、令和5年度入学1年次からの変更としたい。</p> <p>学科名称変更について、文部科学省運営委員会への事前相談手続きを4月の受付期間に行い、6月結果伝達にて届出による変更の該当「適」としての結果伝達を受けたので、この届出書の提出をもって令和5年度入学生より「健康栄養学部 健康栄養学科」として、学生募集要項等で公表、募集を開始する。</p>			
在 校 生 へ の 対 応	学科名称変更は令和5年度入学生からであり、在学生に向けては、「健康栄養学部 管理栄養学科」の学科名称及び学びの内容に変更ない旨、学生用ポータルサイトや演習等授業内で、保護者には教育後援会および文書にて、同内容の趣旨を伝える。			

新	旧
<p>第1章 総則</p> <p>第2節 組織 （学部、学科及び教育方針）</p> <p>第2条 本学に、次の学部学科を置く。</p> <p>経営学部 経営学科 人文学部 人文学科 心理学部 心理学科 教育学部 教育学科 スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 健康栄養学部 <u>健康栄養学科</u></p> <p>第2条の2</p> <p>（1）経営学部経営学科は、人間生活と社会に貢献する企業・組織経営の基本を教育する。あわせて、高邁な人格と高いコミュニケーション能力を培う総合的教育的を行い、確かな知識・技能を身に付けた人材の養成を目指す。</p> <p>（2）人文学部人文学科は、人文学の研究成果に基づき、コミュニケーション能力の養成及び社会と文化の理解を通じて人間教育的を行い、幅広い教養と知識を身につけ地域社会の諸方面で職業人として活動する実践力をそなえた人材を養成する。</p> <p>（3）心理学部心理学科は、心に関する科学的な知識に基づき自己、他者、社会等に関わる諸問題を体系的に理解できる人材、また個人の対人的・心理的問題の発生要因を分析し、その解決策を提起できる人材を養成する。</p> <p>（4）教育学部教育学科は、幼稚園教諭、保育士、小学校・中学校・高等学校の教諭あるいは養護教諭として人を慈しみ、使命感を抱いて社会貢献を行うことができる保育者・教育者を養成する。</p> <p>（5）スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科は、身体を動かすこと、スポーツをすることによって発見できる身体的、精神的、文化的な健康観を科学的、総合的に探究し、健康社会の構築に貢献できる保健体育教諭、スポーツ指導者、健康づくりリーダーなど、様々な分野での可能性をもった人材を養成する。</p> <p>（6）健康栄養学部<u>健康栄養学科</u>は、国民の健康保持増進に貢献する栄養士、管理栄養士などを養成する。病院や学校、福祉施設、事業所給食施設などの現場にて「食」を通じて健康を支える専門的な人材を養成する。</p>	<p>第1章 総則</p> <p>第2節 組織 （学部、学科及び教育方針）</p> <p>第2条 本学に、次の学部学科を置く。</p> <p>経営学部 経営学科 人文学部 人文学科 心理学部 心理学科 教育学部 教育学科 スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 健康栄養学部 <u>管理栄養学科</u></p> <p>第2条の2</p> <p>（1）経営学部経営学科は、人間生活と社会に貢献する企業・組織経営の基本を教育する。あわせて、高邁な人格と高いコミュニケーション能力を培う総合的教育的を行い、確かな知識・技能を身に付けた人材の養成を目指す。</p> <p>（2）人文学部人文学科は、人文学の研究成果に基づき、コミュニケーション能力の養成及び社会と文化の理解を通じて人間教育的を行い、幅広い教養と知識を身につけ地域社会の諸方面で職業人として活動する実践力をそなえた人材を養成する。</p> <p>（3）心理学部心理学科は、心に関する科学的な知識に基づき自己、他者、社会等に関わる諸問題を体系的に理解できる人材、また個人の対人的・心理的問題の発生要因を分析し、その解決策を提起できる人材を養成する。</p> <p>（4）教育学部教育学科は、幼稚園教諭、保育士、小学校・中学校・高等学校の教諭あるいは養護教諭として人を慈しみ、使命感を抱いて社会貢献を行うことができる保育者・教育者を養成する。</p> <p>（5）スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科は、身体を動かすこと、スポーツをすることによって発見できる身体的、精神的、文化的な健康観を科学的、総合的に探究し、健康社会の構築に貢献できる保健体育教諭、スポーツ指導者、健康づくりリーダーなど、様々な分野での可能性をもった人材を養成する。</p> <p>（6）健康栄養学部<u>管理栄養学科</u>は、国民の健康保持増進に貢献する栄養士、管理栄養士などを養成する。病院や学校、福祉施設、事業所給食施設などの現場にて「食」を通じて健康を支える専門的な人材を養成する。</p>

(学生定員)

第3条 学生定員は、次のとおりとする。

学部 学科	入学定員 3年		
次編入学定員 収容定員			
経営学部 経営学科	230	5	930
人文学部 人文学科	100	2	404
心理学部 心理学科	100	2	404
教育学部 教育学科	170	5	690
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科			
	210	5	850
健康栄養学部 健康栄養学科	120	--	480
合計	930	19	3,758

第2章 修業年限、入退学、教育課程及び履修方法等

第5節 卒業及び学士号

(卒業)

第42条 第13条に定める修業年限以上在学し、学部学科所定の教育課程に従って授業科目を履修し、124単位以上を修得した者は、学長が卒業を認定する。ただし、教育学部教育学科については、128単位以上、健康栄養学部健康栄養学科については、132単位以上を修得した者とする。

2 修業年限に関しては、所定の単位を特に優れた成績で修得した者について、学長が3年以上の在学で足りるものとする場合がある。

(学士)

第43条 本学を卒業した者に学士の学位を授与する。

- 2 経営学部 経営学科 学士(経営学)
- 人文学部 人文学科 学士(人文学)
- 心理学部 心理学科 学士(心理学)
- 教育学部 教育学科 学士(教育学)
- スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 学士(スポーツ健康科学)
- 健康栄養学部 健康栄養学科 学士(栄養学)

附則 <第2条、第2条の2、第3条、第42条、第43条及び別表の改正>

- 1 この学則は、令和5年4月1日から改正施行する。
- 2 健康栄養学部管理栄養学科は、改正後の学則第2条の規定にかかわらず、令和8年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続

(学生定員)

第3条 学生定員は、次のとおりとする。

学部 学科	入学定員 3年		
次編入学定員 収容定員			
経営学部 経営学科	230	5	930
人文学部 人文学科	100	2	404
心理学部 心理学科	100	2	404
教育学部 教育学科	180	5	730
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科			
	260	5	1,050
健康栄養学部 管理栄養学科	120	--	480
合計	990	19	3,998

第2章 修業年限、入退学、教育課程及び履修方法等

第5節 卒業及び学士号

(卒業)

第42条 第13条に定める修業年限以上在学し、学部学科所定の教育課程に従って授業科目を履修し、124単位以上を修得した者は、学長が卒業を認定する。ただし、教育学部教育学科については、128単位以上、健康栄養学部管理栄養学科については、132単位以上を修得した者とする。

2 修業年限に関しては、所定の単位を特に優れた成績で修得した者について、学長が3年以上の在学で足りるものとする場合がある。

(学士)

第43条 本学を卒業した者に学士の学位を授与する。

- 2 経営学部 経営学科 学士(経営学)
- 人文学部 人文学科 学士(人文学)
- 心理学部 心理学科 学士(心理学)
- 教育学部 教育学科 学士(教育学)
- スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 学士(スポーツ健康科学)
- 健康栄養学部 管理栄養学科 学士(栄養学)

するものとする。

3 令和5年度から令和8年度において、教育学部教育学科、スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の収容定員は、改正後の学則第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

令和5年

教育学部教育学科 720人

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 1,000人

令和6年

教育学部教育学科 710人

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 950人

令和7年

教育学部教育学科 700人

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 900人

令和8年

教育学部教育学科 690人

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 850人